

令和 7 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業報告書

自 令和 7年 4 月 1 日

至 令和 8年 3 月 31 日

令和7年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和7年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	9
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	21
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	24
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	28
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	31
令和7年度 産業プラザ施設利用状況	31
施設利用収入状況	32
理事会・評議員会	34
協会組織強化	36

令和7年度総括

世界経済の先行きが不透明な状況が続く中、物価や資源価格が変動しており、企業収益や事業運営の不確実性が高まっています。こうした状況は区内産業にも影響を及ぼしており、燃料・電気代の高止まりや原材料費の上昇といった厳しい経営環境が継続しています。

公益財団法人大田区産業振興協会では、区内中小企業の皆様の事業活動を支援するため、多様な施策を展開してまいりました。相談対応の拠点である PiO フロントについては機能の強化を進め、区内中小企業にとって一層身近で信頼される支援拠点となるよう充実を図りました。

商業・サービス事業者に対しては、新たな挑戦を行う事業者への支援に加え、マルシェの開催や SNS・動画・Web サイト等を活用した情報発信を通じて区内商業事業者の魅力を広く発信しました。さらに、BtoC に加え、BtoB の視点も強化するため、バイヤー等を対象とした商談会を開催し、ビジネス機会の創出につなげてきました。

また、区内のものづくり企業が有する高い技術力について積極的に情報発信を行い、国内に加えて海外市場への販路拡大にも取り組んでまいりました。あわせて、区内中小企業の人材不足への対応として、企業の魅力発信の強化を図るとともに、採用力の向上や人材定着を促進する支援プログラムを実施してきました。

さらに、新たな分野への挑戦に取り組む区内中小企業の皆様の支援する事業として「HANEDA 共創プラットフォーム」を展開しており、「ベンチャーフレンドリー塾」「グローバルビジネス勉強会」「自社商品のつくりかた勉強会」といった各種勉強会に加え、「ビジネス英会話サロン」を実施することで、多くの挑戦意欲ある区内中小企業の皆様を力強く支援してまいりました。

公益財団法人大田区産業振興協会は、令和7年度に設立 30 周年式典を開催し、多くの皆様から励ましのエールをいただきました。これまで築いた区内中小企業の皆様との絆や豊富な経験、確かな実績に基づき、今後もチャレンジする皆様の応援に注力するとともに、大田区における中小企業支援の要として、その期待に応えてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

〔重点取組事項〕

- ・産業情報誌「テクノプラザ」は協会ホームページ上で特設ページを設置し、大田区企業の活性化を目指し、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。
- ・大田区の「優工場」認定企業や地域の商業事業者について、SNS や Web サイトなどを活用して広く情報発信を行い、区内企業が持つ優れた技術や商品・製品の魅力を、区内外に向けて発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【当初予算額 7,167,000 円（うち区補助）538,000 円】

【決算額 3,175,004 円（うち区補助）476,291 円】

（ア）事業案内冊子の配布

- (a) 事業案内 令和6年度作成した3,000部の残部数を配布
- (b) 支援メニューブック 令和6年度作成した1,300部の残部数を配布



【事業案内】

（イ）大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」及び大田区「令和6年度大田区ものづくり産業等実態調査報告書」に基づき大田区工業ガイド Web 版を公開

（ウ）30周年記念事業

協会設立30周年を迎え、記念式典を執り行った。

② 産業情報誌の発行

【当初予算額 70,000 円（うち区補助）70,000 円】

【決算額 11,002 円（うち区補助）11,002 円】

協会 Web サイト内の「テクノプラザ Web 版」において、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。

「テクノプラザ」	協会ホームページの更新 10回
----------	-----------------



【テクノプラザ ホームページ】

③ 産業情報受発信事業

【当初予算額 4,822,000 円（うち区補助）4,522,000 円】

【決算額 3,378,297 円（うち区補助）3,198,297 円】

(ア) 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、商い事業者、人材採用成功企業等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

(イ) 協会ホームページによる情報発信

<https://www.pio-ota.jp/>

・年間アクセス件数：60,180 件

・年間閲覧ページ数（PV）：224,895 件

※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は

サブサイト「大田区産業プラザ」、「大田区研究開発型企業ガイド」、「おしごとナビ大田区」等の件数を含まない。



【協会ホームページ】

(ウ) プレスリリース配信サービスの活用

・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12回の発信を行った。

(エ) 公式 LINE (OTA デジタル×Pi0) による情報発信

・公式 LINE OTA デジタル×Pi0（登録者数 2,044 人）

【重点取組事項】

- ・大田区産業プラザ1階「Pi0 フロント」では、区内中小企業の経営基盤の強化や創業促進などのため、ビジネス相談（専門家派遣）、創業相談（創業相談窓口）及びデザイン相談（Pi0 デザイン工房）を実施した。さらに、大田区産業の総合相談窓口として、館内の支援機関・団体をはじめ、各支援機関等との連携強化を図りつつ、専門的な相談窓口への橋渡しなど相談者が支援を受けるために必要なコーディネートを行った。
- ・専門相談員による「創業相談窓口」は延べ約 1,000 回の相談に対応し、継続的な相談支援や国の特定支援事業案内を行い、区内での創業を促進した。
- ・商業分野の事業では、成長意欲があり、新たな挑戦を行う事業者 15 社に対して、専門的知見の提供及び取組に係る費用の一部助成を行い、その取組の実現を支援した。

① 中小企業情報化支援

【当初予算額 5,631,000 円（うち区補助）3,090,000 円】

【決算額 4,568,406 円（うち区補助）2,527,906 円】

ホームページ PR ツール作成支援サービス（Pi0 デザイン工房）

区内中小企業のホームページをはじめ、ポスターやチラシなどの各種 PR ツールの作成を、デザインを専門とする専門員が支援することで自社製品やサービスの PR を促進した。

利用回数	延べ 265 回	新規利用者数	17 社
------	----------	--------	------

② ビジネスサポートサービス

【当初予算額 8,127,000 円（うち区補助）8,127,000 円】

【決算額 3,320,827 円（うち区補助）3,320,827 円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様ざまな課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ 355 回	支援協力者登録数	97 人
---------	----------	----------	------

(イ) Pi0 フロント

Pi0 フロントにおける相談等利用実績

内容	利用件数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	997 回
ビジネス相談（専門家派遣）	355 回
デザイン相談（Pi0 デザイン工房）	265 回
窓口相談	114 回
電話相談	228 回



【Pi0 フロント】

館内案内	805 回
その他利用（他事業打合せ、見学等）	295 回
合計	3,059 回

(ウ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数
令和7年6月6日	「金融機関向け 協会商いサービス部事業説明」 会場：大田区産業プラザ 3階特別会議室 内容：商いサービス部各係の事業（商いセールス係、Pi0 フロント係、勤労者共済係）について紹介した。	31 人

③ 銘店への道事業

【当初予算額 10,547,000 円（うち区補助）10,547,000 円】

【決算額 6,479,410 円（うち区補助）6,479,410 円】

(ア) 銘店への道事業

小売店、飲食店及びサービス業事業者が行う新たな価値を創出する取組について、店舗設計や商店経営等の専門知識・経験を持つコーディネーターが支援した。加えて、その取組にかかる費用の一部を助成した。

申請件数	採択件数
28 件	15 件



【銘店への道事業案内】

(イ) デジタルを活用した情報発信

LINE 公式アカウント「商い Pi0」による情報発信・案内を実施した。

配信回数	登録者数
60 回	409 人



【LINE 公式アカウント商い Pi0】

④ 創業者支援事業

【当初予算額 22,651,000 円（うち区補助）22,651,000 円】

【決算額 18,031,754 円（うち区補助）18,031,754 円】

(ア) 創業相談窓口の設置

(a) 創業相談窓口

区内での創業希望者または創業して間もない方を対象に、事業計画作成、資金調達、販路拡大の方法など、専門相談員による創業時の様ざまな課題への助言等を行う相談業務を実施した。

相談件数	延べ 997 回

(b) 創業者交流会

実施日	テーマ等	参加者数
令和7年11月20日	「創業者交流会」 会場：大田区産業プラザ 5階会議室 内容：①資金調達セミナー（東京都信用保証協会） ②事例紹介・勤労者共済事業紹介 ③参加者による「1分自己紹介」 ④交流会（名刺交換等）	18人

(c) 大田区創業ポータルサイト「創業Pi0」

区内での創業を促進するとともに、動画講座配信に向けた基盤整備として、ビジネス環境、創業相談の概要、創業後の支援体制等を盛り込んだポータルサイトを開設した。

https://www.pio-ota.jp/management_founding/startup_support/



【創業Pi0】

(イ) ユナイト助成

助成件数 5社（申込件数 5社）	
企業名	事業テーマ
株式会社ファーマーユー	夏みかんの加工搾汁残渣アップサイクル
株式会社パルセック	心脈デバイスの設計および試作
株式会社 Dhwincycle	歯科医院向けライトケア専用新規予約システムの MVP 開発
株式会社 ICOMA	次世代電動モビリティ『tatamo（タタモ）』改良版（SXSW 向け）試作開発
BiSteed 株式会社	高齢者会話デバイス『PokePal（ポケパル）』の試作品開発



【ユナイト助成チラシ】

(ウ) ベンチャーピッチ

HANEDA 共創プラットフォームの勉強会「ベンチャーフレンドリー塾」の第20回開催において、「ベンチャーピッチ」を実施した。主にハードウェアを必要とする区内外スタートアップ企業6社がピッチに登壇し、ものづくりパートナーとの連携や資金調達、販路拡大に向けて、課題やニーズを全体にシェアした。ベンチャーフレンドリー塾会員企業のほか、ピッチ登壇者及びパートナー企業含め計49名が参加した。

概要			
開催日	令和8年2月25日	会場	Pi0 PARK
HANEDA 共創プラットフォーム「ベンチャーフレンドリー塾」の第20回として開催 【ピッチ登壇企業】（6社） 株式会社 Aladdin、株式会社ウイズアクア、KiMiTo、株式会社トコシエ、 Forex Robotics 株式会社、株式会社プラネッツ			

(エ) スタートアップ誘致

イベント名	大田区ものづくり丸わかりツアー		
概要	受発注促進とスタートアップ誘致を目的とし、ビジネスモデル上、ハードウェアを必要とするスタートアップを中心に 42 人が参加。前半はテクノWING に入居するものづくり企業を視察、後半は Pi0 PARK に移動して大田区ものづくり企業とのワークショップを行った。		
開催日・会場	令和7年9月24日 テクノWING		
参加者数	42人		

イベント名	台湾スタートアップを中心とした中小企業視察団交流イベント		
概要	台湾のスタートアップ関連企業と区内企業のビジネス機会創出や誘致を目的として、Pi0 PARK にて交流イベントを開催。日本市場に興味のあるハードウェアを必要とするスタートアップ企業や AI 関連企業などが参加した。協会及び台湾企業各社のプレゼンや意見交換、名刺交換のほか、羽田イノベーションシティ Zone B の KAWARUBA(川崎重工業株式会社のイノベーション共創拠点)を見学し、今後の連携や誘致に繋がる交流機会となった。		
開催日・会場	令和7年11月18日 Pi0 PARK		
参加者数	台湾スタートアップ 関連企業	10社 21人	大田区企業 7社 7人

イベント名	宇宙を目指すスタートアップと製造業の交流会		
概要	宇宙開発に取り組むスタートアップ企業と区内製造業企業の連携創出を目的として、本イベントを開催した。基調講演やショートピッチに加え、1対1のミニマッチングや交流会などを実施。全編を通じて、技術的なマッチングの促進や有望なスタートアップ企業の区内誘致を図った。区内外から多くの宇宙スタートアップ企業が参加したことで、新たなネットワーク層へのアプローチにつながる機会となった。		
開催日・会場	令和8年2月20日 Pi0 PARK		
参加者数	宇宙スタートアップ	10社 14人	大田区企業 10社 14人
	来賓・オブザーバー	16人	



⑤ 工場表彰制度（優工場）

【当初予算額 4,586,000 円（うち区補助）4,486,000 円】

【決算額 3,688,070 円（うち区補助）3,688,070 円】



【優工場ホームページ】

申込企業	10 社
認定工場	<p>広沢電機工業株式会社(総合部門賞及びまちに優しい部門賞) 株式会社三美テックス(総合部門賞及び人に優しい部門賞) 電化皮膜工業株式会社(審査員特別賞) 大肯精密株式会社 株式会社グーテンベルク 有限会社里中精機 三和打抜工業株式会社 信和パーツ株式会社 株式会社北海鉄工所 株式会社渡辺精機</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">【実地調査】 【優工場パンフレット】</p>
累 計	319 社 実数 198 社（令和 8 年 3 月末時点）
実地調査	令和 7 年 9 月 1 日、3 日、4 日
審 査 会	令和 7 年 10 月 20 日
表 彰	令和 8 年 1 月 30 日

・アンケート調査の実施

前年度（令和 6 年度）認定工場 12 社にアンケートを実施。従業員の士気が向上した、認定への取組が人材採用に繋がったなど、全ての企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

〔重点取組事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（12月）参加企業169社（発注企業50社、受注企業119社）で開催。当日のキャンセルに際しても、追加商談のセットや技術連携相談員によるヒアリングなどにより空白時間をなくすことで参加企業へのサービス向上に努め、473件の商談案件を提供した。
- ・「Meet New Solution」は、会場を有楽町にある東京都のスタートアップ支援拠点「Tokyo Innovation Base (TIB)」に変更し、経済産業省関東経済産業局および東京都の後援のもと展示会を開催した。「ハードウェアスタートアップ×町工場×AI=イノベーション」を新たなテーマに掲げ、例年以上に大田区の強みである町工場の高い技術力・開発力に焦点を当てた内容とした。本展示会には、大田区、墨田区、板橋区、江戸川区をはじめ、北九州、岡山、愛知、浜松、相模原、仙台など全国有数のものづくり自治体が出展し、各地域の強みや先進的な取組を発信した。その結果、会場全体が大きな熱気に包まれ、展示会としての存在感と訴求力が一層高まった。
- ・海外取引相談では、PiO PARKにおける海外情報の提供機会として、グローバルビジネス勉強会を6回、海外取引セミナーを4回、ビジネス英会話サロンを6回実施した。このほか、令和7年9月に海外企業との取引拡大を希望する区内中小企業5社とともに、台湾の政府機関や企業など6か所を訪問し、ビジネスマッチングを実施した。さらに、海外見本市については、11月にドイツで開催された医療機器用部品をテーマにしたCOMPAMEDに区内中小企業4社と共同出展した。各出展者とも来場者に対して積極的にプロモーションを行い、数多くの商談が生まれた。その他、窓口・訪問相談や国際取引あっせん等を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、国際的な企業間連携の深化を推進した。
- ・商業分野の事業では、高い集客が見込める大田区内の2エリアで「おたイチ推しマルシェ」を開催し区内商業事業者の新規顧客獲得、販路拡大を図ると同時に、来場者には区内商店の魅力の再発見を促した。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARKの運営を通じて、区内中小企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【当初予算額 29,577,000円（うち区補助）29,049,000円】

【決算額 29,065,130円（うち区補助）28,484,230円】

(ア) 相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
107件	受注	発注	832件
45,404千円	28件	717件	

(イ) 発注開拓 (工業)

技術連携相談員及び担当職員による区外の大手企業等への発注開拓

訪問先	183 件
活動成果	成約案件：12 件 成約金額：17,503 千円

(ウ) 受・発注商談会

ものづくり受発注商談会

実施日		
令和7年12月5日		
第64回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
169 社	50 社・119 社	473 件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

② 海外取引相談事業

【当初予算額 23,526,000 円 (うち区補助) 23,407,000 円】

【決算額 17,271,117 円 (うち区補助) 17,219,617 円】

(ア) 窓口・訪問相談

(a) 相談件数 (合計 528 件)

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	29 件	欧州	127 件
台湾	65 件	北米	28 件
ASEAN	82 件	その他	197 件

(b) 国内における外国機関・企業との商談、打合せ件数 (合計 234 件)

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	17 件	欧州	81 件
台湾	67 件	北米	12 件
ASEAN	31 件	その他	26 件

(c) 国際取引あつせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
54 件	6 件	13,877 千円

(イ) 国際連携の推進

(a) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和7年5月22日	「オーストリアをはじめとするヨーロッパのビジネス・イノベーションプロセス」 登壇者：ウィーンエアポートシティ (VIE)	16 人

令和7年7月15日	「国際人材の活躍」 登壇者：株式会社サンパワー	20人
令和7年9月25日	「台湾出張報告および会員企業海外トピック情報共有」 登壇者：会員企業6社	24人
令和7年11月25日	「専門商社の中小企業輸出入サポート」 登壇者：日鉄物産マテックス株式会社	16人
令和8年1月28日	「海外展示会について」 登壇者：株式会社精研	24人
令和8年3月18日	「ASEAN」 登壇者：日本アセアンセンター	11人

(b) 海外取引セミナー

実施日	テーマ	参加人数
令和7年6月11日	米中関税戦争の行方 ～日本経済及び中小企業への影響～	69人
令和7年12月11日	インドビジネスの可能性と課題 ～大田区産業との親和性～	43名
令和8年2月24日	海外取引セミナー「大田区中小企業のためのドイツを 起点としたEUへの展開」	25名
令和8年3月19日	海外取引セミナー「損得から考える貿易実務と国際物 流」	24名

(c) ビジネス英会話サロン

実施日	テーマ	参加人数
令和8年2月2日	「海外商談の基礎理解」	26人
令和8年2月9日	「製品紹介の効果的な表現」	27人
令和8年2月16日	「価格提示と交渉の基礎」	24人
令和8年3月2日	「模擬海外展示会」	20人
令和8年3月9日	「クレーム発生時の交渉術」	23人
令和8年3月16日	「中華圏ビジネスパーソンとの英会話」	16人

(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	11件
海外企業信用調査	11件

(エ) 英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、海外見本市への出展や、海外企業・機関との打合せの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業57社を掲載中。

<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



(オ) 海外市場開拓（商談会）

日程、訪問国・地域	参加企業数	訪問機関・企業数	成果
令和7年9月9日から12日まで 台湾	区内中小企業 5社	台湾研究機関・ 企業など6か所	各所にて区内企業と 台湾企業が相互にブ レゼンテーション等 を実施した。
令和8年1月21日から24日まで タイ	協会単独	タイの日系企業 など6か所	各所にて区内産業を PR



(カ) 海外機関、企業からの来訪

件数	人数	主な視察者
13件	192人	台湾金属工業開発研究センター、ザンビア視察団、 在日ドイツ商工会議所、エチオピア視察団、台湾 ITRI 中部院、米国フロリダ州パスコ郡経済開発公 社、台湾スタートアップ視察団、日独産業協会、台 湾新創業総会など

③ 大田区加工技術展示商談会

【当初予算額 19,360,000円（うち区補助）16,610,000円】

【決算額 19,337,403円（うち区補助）16,559,903円】



開催日	参加企業・団体	来場者	商談件数
令和7年 9月5日	107社・団体	821人	1,302件
概要	<p>「企画展示」として、国内の工作機械メーカーを誘致し、実機を展示することで、出展者及び来場者の双方にとって有益かつ意義のある展示となるように工夫した。当日は台風の影響により、来場者数は減少したものの滞留時間が長く、商談を目的とした来場者が多かったため、活発な商談が行われた。会場となった東京流通センターでは初開催ではあったが、関係者や出展者との緊密な連携により、内容の濃い商談会となった。</p>		 <p>【会場風景】</p> 

④ 国内見本市への出展支援

【当初予算額 17,405,000 円（うち区補助）13,521,000 円】

【決算額 16,529,094 円（うち区補助）12,722,094 円】

(ア) ものづくり産業 PR 展示会

展示会名	会期及び会場	成 果
テクノフロンティア 2025	令和7年7月23日から25日まで 東京ビッグサイト	商談件数 1,546 件
概要	<p>会場では、「技術に魂。『東京・大田区』」のキャッチコピーを掲げ、大田区パビリオンを大きく設置した。3日間の通常出展に加え、出展経験の浅い企業を対象としたワンデー枠を設け、出展機会を提供した。また、自治体連携エリアにおいては、出展者によるプレゼンテーションや大田区の立地等の PR を積極的に実施した結果、多くの来場につながった。</p> <p>【主催者】一般社団法人日本能率協会 【大田区パビリオン参加企業】20 社</p>	
		 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【出展企業と協会職員】</p>

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8 社

展示会名	会期及び会場	出展企業
第10回 ものづくり ワールド [名古屋]	令和7年4月9日から11日まで ポートメッセなごや	株式会社グーテンベルク
INTERMOLD 2025 (第36回金型加工技術展) / 金型展2025	令和7年4月16日から18日まで 東京ビッグサイト	フィーサ株式会社
バリシップ2025	令和7年5月22日から24日まで テクスポート今治	株式会社カットランドジャパン
JECA FAIR 2025	令和7年5月28日から30日まで インテックス大阪	株式会社三桂製作所
第37回 ものづくり ワールド [東京]	令和7年7月9日から11日まで 幕張メッセ	株式会社三和デンタル
テクノフロンティア2025	令和7年7月23日から25日まで 東京ビッグサイト	株式会社塩原製作所
第100回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2025	令和7年9月3日から5日まで 東京ビッグサイト	トキ・コーポレーション株式会社
JAPAN SHOP2026	令和8年3月3日から6日まで 東京ビッグサイト	株式会社 OUTSENSE

⑤ 海外見本市への出展支援

【当初予算額 12,009,000 円（うち区補助）10,951,000 円】

【決算額 10,358,173 円（うち区補助）8,855,073 円】



【ドイツ COMPAMED 出展】

共同出展

展示会名、会期及び会場	成 果	参加企業
ドイツ COMPAMED 2025 令和7年11月17日から20日まで	商談件数 272 件 継続案件 49 件	区内中小企業 4社との共同出展 (うち新規出展3社)

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【当初予算額 19,450,000 円（うち区補助）16,689,000 円】

【決算額 15,609,300 円（うち区補助）15,380,800 円】

(ア) おおたイチ推しマルシェ

会 期	会 場	参加事業者数	購買人数
(1) 令和7年8月23日、24日 (2) 令和7年11月1日、2日	(1) イトーヨーカドー 大森店 (2) 大岡山駅前広場	(1) 18 店舗 (2) 15 店舗	(1) 1,228 人 (2) 2,109 人
概 要	<p>大田区の人通りの多い場所で区内商業事業者による販売・PR イベントを開催し、新規顧客獲得や販路拡大を目指すとともに、区民をはじめとした来場者には、大田区の商店の魅力の再発見と区内回遊を促した。</p> <p>また、会場で事業者や近隣商店街・大学との連携企画や子供向けのワークショップを実施することで、地域の賑わいを創出すると同時に、イベント価値の向上を図った。</p>		






【おおたイチ推しマルシェ案内チラシ】



【会場風景】

(イ) Meet New Solution OTA

会 期	参加事業者数	来場者数
令和7年12月12日	126 社（団体）	807 人
創出された出会いの件数	2,851 件（うち新規取引など出展目的達成につながる可能性が高い案件 400 件）	

概 要	<p>全国 11 の自治体をはじめ、創業支援施設・実証実験施設・スタートアップ支援機関など全国約 120 のチーム・団体が出展する中、「ハードウェアスタートアップ×町工場×AI＝イノベーション」を新たなテーマに掲げ、例年以上に大田区の強みである町工場の高い技術力・開発力に焦点を当てた内容とした。「Meet」「Inspire」「Challenge」「Dream」「Support」をキーワードに、社会的課題を解決する新たなソリューションを創出する企業が一堂に会し、大田区から次世代の成功に向けた挑戦と創造の推進を目的に開催。</p> <p>【企画・イベント】</p> <p>①特別講演 「AI が新たな労働力となる ～ハードウェア&ソフトウェアにおけるものづくりへのインパクト～」 講師：(株) pluszero</p> <p>②ピッチイベント 「全国から集結！スタートアップピッチ 2025」</p> <p>③基調講演 「ハードウェアスタートアップ支援最前線：政策と地域産業の交差点から」 講師：(独) 中小企業基盤整備機構</p> <p>④トークセッション 「日本一ベンチャーフレンドリーなまち 大田区を目指して」 登壇者：中小企業基盤整備機構 創業・スタートアップ支援部長、 (株) 浜野製作所、(有) 安久工機、(株) ICOMA、東日本旅客鉄道(株)</p> <p>⑤各団体・企業の事業紹介（東京都、大田区、東京工科大学など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【会場風景】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【トークセッション】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【全国から集結！スタートアップピッチ】</p> </div> </div>
-----	--

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【当初予算額 23,972,000 円（うち区補助）23,172,000 円】

【決算額 21,188,565 円（うち区補助）20,130,365 円】



(ア) 相談業務（商業）

専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商
い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ 853 件
------	----------



【商いPiO ホームページ】

(イ) フード展示商談会

実施日・会場	内 容
令和7年10月10日 PiO PARK	「第9回フード展示商談会 in 大田」 ・出展者（売り手側）18社 ・来場者（買い手側）104人 ・商談件数：100件

(ウ) 大田区次世代商人～あきない成長プログラム～

現役で活躍しているバイヤー・専門家等が講師となり、個別講義を中心としたプログラムを実施することで、区内商業事業者の経営力・商品力をより一層向上させ、今後の販路拡大や経営者としての成長を目指した。

参加店舗数	個別講義回数
8店舗	42回

(エ) 商業の魅力発信



大田区の商業・商店の魅力をより広く伝え、大田区のイメージ向上、店舗への集客向上を図ることを目的に、個性的な店舗を集めた「珈琲御朱印マップ」を製作した。掲載店舗を回遊する御朱印スタンプラリーを実施することで、広い層に対して大田区商業をアピールするとともに、各店舗への訪問者・購買者の増加に寄与した。



参加店舗数	制作部数
21店舗	4,200部



【珈琲御朱印マップ】

(オ) 商業系展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
東京インターナショナル ギフト・ショー秋 2025 第18回 LIFE×DESIGN	令和7年9月3日から5日まで 東京ビッグサイト	名刺交換件数 799件 商談件数 203件
概要	<p>日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市である「ギフト・ショー」に大田区パビリオンを設け、区内事業者と共同出展した。同展示会は100回目を迎えるメモリアルな開催であり、セミナーなどのイベントが積極的に行われ、3日間を通して来場者も多く、会場全体で賑わいが見られた。</p> <p>【主催者】株式会社ビジネスガイド社 【大田区パビリオン参加企業】12社</p>	 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【商談の様子】</p>

展示会名	会期及び会場	成 果
第 60 回スーパーマーケット・ トレードショー2026	令和 8 年 2 月 18 日から 20 日まで 幕張メッセ	名刺交換件数 1,459 件 商談件数 468 件
概要	<p>食品流通業界に最新情報を発信する業界最大級の商談展示会「第 60 回スーパーマーケット・トレードショー2026」に共同出展した。</p> <p>同展示会は全国から多数の小売・卸・メーカーが来場し、会場全体で活発な商談が行われた。また完全招待制であることから、他の食品系展示会と比較してもターゲットが明確であり、確度の高い具体的な商談が活発に行われた。</p> <p>【主催者】一般社団法人全国スーパーマーケット協会 【大田区パビリオン参加企業】10 社</p>	 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【商談の様子】</p>

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【当初予算額 37,814,000 円（うち区補助）23,930,000 円】

【決 算 額 29,624,358 円（うち区補助） 8,035,938 円】



PiO PARK のイベント開催、コワーキング及びショーケーシングの運営を適時かつ適切に行った。また、独自のイベント開催等を通じて利用者や区内中小企業への産業支援、連携促進にも取り組み、イベントやショーケーシングをきっかけとした連携や成約事例が生まれた。



【PiO PARK】

（ア） PiO PARK 利用促進

SNS(X、TikTok 等)を活用して、PiO PARK で開催されるイベント情報等を発信するほか、ホームページを充実させ施設利用促進のためのプロモーションを行った。また、ショーケーシングエリアを大幅にレイアウト変更するとともに展示品にもバラエティを持たせ、より多くの方々が楽しめるスペースとした。

（イ） 協会や区が主催するイベントの運営・支援

協会主催のイベントでは、宇宙開発に取り組むスタートアップ企業と区内製造業企業の連携創出を目的としたマッチングイベントなどを開催し、技術的なマッチングの促進や有望なスタートアップ企業の区内誘致を図った。

(ウ) 利用者に対する産業支援

HANEDA 共創プラットフォームをはじめとする協会主催事業への参加促進、利用者からの個別相談対応、利用者と区内中小企業との連携促進を行った。また、Pi0 PARK を活用して羽田イノベーションシティ入居者全体向けの交流会を適時開催し、交流機会を創出した。

(エ) 区外企業・機関との連携促進

区外（海外含む）からの視察の受け入れやイベント連携を積極的に行い、区内中小企業の技術力のPR、Pi0 PARK の紹介、連携機会の創出、産業の活性化を図った。

(オ) Pi0 PARK 利用実績

(a) Pi0 PARK 利用実績

延べ利用者数 合計	25,457 人			
イベント	開催件数	160 件	来場者 総数	延べ 10,557 人 (オンライン参加 715 人を含む)
コワーキング	内容			利用者数
	月額プラン契約件数（令和 8 年 3 月末時点）			32 件
	月額プラン利用者数			延べ 4,252 人
	1 日フリープラン利用者数			延べ 23 人
	時間利用者数			延べ 111 人
	無料体験者数			328 人
	特別会議室利用			63 件/延べ 902 人
ゲスト来訪者	視察者数（海外関係機関視察者(28 件 491 人)を含む)			1,981 人
	ショーケース見学見学者数			延べ 6,153 人
	その他（テナント企業利用等）			延べ 1,150 人
マッチング	ショーケース等をきっかけとした成約数			2 件

(b) イベント【協会主催イベント（抜粋）】

超専門技術ミニ展示会（テーマを絞ったニッチ分野の小規模展示会）

イベント名	内容			
「大きいモノ、 数モノ展」	「大物部品の加工」や「量産技術」			
	令和 7 年 7 月 17 日	出展者 21 社	来場者 371 人	商談件数 493 件
「長持ち展」	「高耐久化」「長期利用」「省エネに貢献する技術」 「社会インフラのメンテナンス効率化の技術」			

	令和7年12月4日	出展者 23 社	来場者 361 人	商談件数 637 件
「すっきり展」	「浄化」・「鈍化」・「美化」・「整理整頓」の技術			
	令和8年3月12日	出展者 20 社	来場者 205 人	商談件数 341 件

HANEDA 共創プラットフォーム（会員制の勉強会）

内容	開催回数	参加者数
グローバルビジネス勉強会	6 回	延べ 111 人
ベンチャーフレンドリー塾	6 回	延べ 225 人
自社商品のつくりかた勉強会	6 回	延べ 112 人
ビジネス英会話サロン	6 回	延べ 136 人

(c) ショーケーシング

レイアウトを変更し、より見やすい魅力的なスペースとした。常設展示（約 30 社のサンプルを展示）を随時増やしているほか、テーマ別の企画展示を行い、区内中小企業の技術力や連携事例等を発信した。

期 間	企画展示内容
令和7年7月から8月まで	インダストリアルパーク羽田大田区産業施設 入居企業企画展示

⑨ 知的財産・シンクタンク事業

【当初予算額 980,000 円（うち区補助）830,000 円】

【決 算 額 197,456 円（うち区補助）197,456 円】

(ア) 知的財産の保護・活用

知的財産の戦略的活用による区内中小企業活性化、国際競争力強化、リスク低減や新事業創出などを目指し、大手企業の開放特許の区内中小企業活用を促進した。令和7年7月には、東京都知的財産総合センターと連携し、知財マッチングイベントを開催した。

イベント 開催日	概要	参加者数 (区内中小企業)
令和7年 7月29日	知的財産マッチング会 in 大田区 【シーズ発表】4社（株式会社ディスコ、三菱重工業株式会社、パナソニック IP マネジメント株式会社、日産自動車株式会社） 【主催】東京都知的財産総合センター 【後援】（公財）大田区産業振興協会	37 人 (21 人)

(イ) 客員社会連携コーディネーター制度による新事業創出

PiO PARK を主要拠点とした区内中小企業やスタートアップの課題解決と連携・支援強化の実現を目指す目的で、法政大学経営大学院と連携し、同コーディネーターの活動に求められる講義を実施。主に大田区に拠点を置く金融機関担当者や自治体職員、大田区産業振興協会職員などを講

義参加対象とし、受講修了者を社会連携コーディネーターとして認定した。

講義 開催日	概要	社会連携コーディネーター認定者数
令和7年 12月5日	社会連携コーディネーターの教育・育成に向けた講義 【会場】 法政大学新一口坂校舎1階101教室 【参加対象】 主に大田区に拠点を置く金融機関担当者や自治体職員、大田区産業振興協会職員など 【講師】 法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科	34人 【認定者所属企業・団体】 大田区、大田区産業振興協会、さわやか信用金庫、芝信用金庫、城南信用金庫、三井住友銀行

(ウ) 各種イベントによる区内企業の知財活用促進

区内中小企業の知的財産の戦略的活用を目指して、INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）や東京都知的財産総合センターと連携し、情報提供のセミナーを開催。

セミナー 開催日	概要	参加者数(区内中小企業)
令和7年 5月30日	市場×事業×知財で戦略的な経営判断を実現！IP ランドスケープ活用セミナー 【会場】 大田区産業プラザ6階 F会議室 【参加対象】 区内企業、協会職員、技術連携相談員等 【講師】 独立行政法人工業所有権情報・研修館 【主催】 (公財)大田区産業振興協会	3人 (3人)
令和7年 6月26日	他社と差がつくブランディング戦略と知財情報検索ツール活用セミナー 【会場】 羽田イノベーションシティ ZONE K 201 PiO PARK 【参加対象】 区内企業、協会職員、技術連携相談員等 【講師】 独立行政法人工業所有権情報・研修館 【主催】 (公財)大田区産業振興協会	21人 (17人)

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業【定款第4条（4）関係】

【重点取組事項】

- ・おしごとナビ大田区は、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若者と中小企業とのマッチング事業において、前期では「採用力の向上」、後期では「若手人材の定着」をテーマに、セミナー、個別指導、就活生とのマッチングや対話イベント、フィードバックセミナー等を組み合わせた総合的な人材確保支援を行った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業は、求職者データベースのデジタル化に加え、求人企業データベースのデジタル化を進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、求人開拓の範囲を広げた結果、新たな募集案件の獲得につながった。

① おしごとナビ大田区

【当初予算額 2,406,000 円（うち区補助）482,000 円】

【決算額 1,614,272 円（うち区補助）48,730 円】



(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	128 社
新規登録企業数	25 社



【おしごとナビホームページ】

(イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施

「おしごとナビ大田区」ページへの流入促進を図り、令和7年12月、令和8年1月及び3月の3か月間、WEB広告（DSP広告）を実施。

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【当初予算額 6,614,000 円（うち区補助）6,514,000 円】

【決算額 6,205,286 円（うち区補助）6,185,286 円】

(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校（高専）の教授陣と連携し、同校で中小企業の若手技術者育成を目的として講座を実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。

講座科目別実績

	科目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)
基礎講座 (大田区・品川区)	機械設計のための基礎	15 回	令和7年9月1日から10月17日まで	12(5) 人
	工業材料の基礎	6 回	令和7年10月21日から11月10日まで	10(6) 人
	加工と測定の基礎	6 回	令和7年11月12日から11月28日まで	2(1) 人

	ICTの基礎	6回	令和7年11月7日から12月12日まで	5(3)人
	電気回路の基礎	8回	令和7年9月24日から10月21日まで	13(4)人
	シーケンス制御の基礎	10回	令和7年10月23日から11月25日まで	10(4)人
出前講座 (大田区)	金属材料、プラスチック講座	2回	令和7年11月18日、25日	18人

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局：NPO 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和7年4月から令和8年3月まで(毎月1～2回) 会場：大田区池上会館(科学室) ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」(LEDの話、電気回路の実験) ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20日	会員数 30人 延べ参加者 482人
臨時活動	令和7年7月24日 「テクノフロンティア展示会」見学 令和7年8月4日 「工場見学」 令和7年7月22、28日、8月6、18日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」説明会・指導会 令和7年8月21日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」大田地区大会 令和7年12月12、13日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」全国大会 令和7年10月17日 「さわやか信用金庫物産展 展示発表」 令和8年1月18日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加	11日	

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【当初予算額 1,757,000円(うち区補助)1,657,000円】

【決算額 1,738,307円(うち区補助)1,598,307円】

前期：区内企業の採用力向上を主眼とした総合的な採用支援を行った。

参加企業数	7社
採用力向上セミナー	令和7年7月3日
参加企業への個別指導	令和7年7月17日、7月18日
オンラインマッチングイベント	令和7年8月5日(参加企業4社 参加求職者12人) 令和7年8月6日(参加企業3社 参加求職者11人)
フィードバックセミナー	令和7年8月22日
ハローワーク大森「大田区ものづくり企業バスツアー見学会」	令和7年12月19日 (参加企業5社 参加求職者 午前10人、午後8人)

区内専門学校の大田区近隣 業界セミナーへの参加	令和8年2月12日（参加企業1社）
----------------------------	-------------------

後期：区内企業の若手人材定着を主眼とした総合的な人材確保支援を行った。

参加企業数	7社
定着率を高める組織づくり セミナー	令和7年12月18日
参加企業への個別指導	令和8年1月21日、1月22日
対面＋オンライン就活生と の対話イベント	令和8年2月13日（参加企業3社 参加求職者8人） 令和8年2月16日（参加企業4社 参加求職者8人）
フィードバックセミナー	令和8年2月25日

④ +WORK（内職あっせん・相談）事業

【当初予算額 407,000円（うち区補助）407,000円】

【決算額 373,281円（うち区補助）373,281円】

（ア） あっせん相談

（a） あっせん・相談状況

求職 登録人数	求人		あっせん		採用 人数	問合件数
	企業数	人数	企業数	人数		
307人	112社	221人	199社	213人	124人	1,982件

（b） 出張相談会

ハローワーク大森	6回開催
----------	------

（イ） 求人開拓

求人企業への企業訪問	46件
------------	-----

（ウ） 普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	枚数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	世田谷区・目黒区・杉並区の中小企業等	986枚
	東京都立城南職業能力開発センター 大田校、各工場ア パート等にポスター掲示	10枚
内職求職者用 印刷物の作成・配布	大田区子育て支援課（区内児童館54か所を含む）に チラシ設置	約2,700枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約300枚
	大田区シルバー人材センター、大田区いきいきしごと ステーション、大田区生活再建就労サポートセンター JOBOTAにチラシ設置	約300枚

〔重点取組事項〕

- ・ トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、高度先進的な製品・技術だけではなく、社会的課題解決やSDGsといった観点からも優れたものが多く採択された。採択企業は、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・ 新製品・新技術コンクールにおいても、社会的課題解決やSDGsといった観点から優れたものの応募が増えており、その中から有望な製品9件を選出した。最優秀賞は株式会社丸山製麺のらーめん缶「醤油らーめん」「ピリ辛味噌らーめん」が受賞。また、優秀賞は株式会社ICOMAの「タタメルバイク」とShisei Medical株式会社の上肢用揺動訓練装置「ハンドジグリング」が受賞した。
- ・ 次世代産業創造・産業クラスター形成事業においては、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（自動車メーカー）とのオープンイノベーション（出張展示会）などを行い、区内中小企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。また、おた研究・開発フェアでは、引き続きコングレスクエア羽田で開催し、国内から多くの来場を集めた。

① 新製品・新技術開発支援事業

【当初予算額 77,763,000円（うち区補助）77,763,000円】

【決算額 56,385,566円（うち区補助）56,385,566円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

企業名	事業テーマ
AMX 株式会社	純国産大田区モデル新型光造形3Dプリンター向け材料開発における市場調査
デザイン&テクノロジー合同会社	犬の健康状態可視化システム
ユー・エー株式会社	最新の低侵襲内視鏡手術トレーニングに対応した、脳神経および泌尿器領域を含む人体モデルの開発
株式会社 cosmobloom	3U/6U型 CubeSat 向け膜面式デオービット装置の開発
ジオ・サーチ株式会社	護岸壁裏空洞調査システムの開発
株式会社 Piezo Sonic	ピエゾソニックモータを利用した小型ジンバルシステムの開発
株式会社 Xenoma	ヒューマンインタラクションハードウェアの量産化検討
有限会社プロトタイプ	モーターサイクルシミュレータを使用したリアルタイムモーションキャプチャスーツの開発

実用化製品化助成	助成 4 社 (申込件数 18 社)
企業名	事業テーマ
株式会社クマクラ	超音波援用スクライバー (マイクロスクライバー) の製品化
株式会社 OUTSENSE	「SORIORIPANEL」の不燃化/高機能化に向けた検討
株式会社グーテンベルク	高機能樹脂「PEEK」の造形を可能とする新型 3D プリンターの開発
フィーサ株式会社	安定したイオンバランスの超薄型静電気除去装置

(イ) 新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 29 件)
賞 名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社丸山製麺 らーめん缶「醤油らーめん」「ピリ辛味噌らーめん」	
優秀賞	株式会社 ICOMA タタメルバイク	
	Shisei Medical 株式会社 上肢用揺動訓練装置「ハンドジグリング」	
奨励賞	株式会社 Piezo Sonic 超音波モータ用 2 軸位置制御コントローラ「PSMC-RP1」	
	株式会社ロボットテクニカルセンター PC 遠隔操作溶接ロボットシステム「WELDEMOTO」	
	株式会社三桂製作所 ノックアウト差込み式 (クイックロック) 樹脂製ケーブルグランドコネクタ型式「E2BGQ」	
	株式会社ウィズアクア 「おてがる水産®」無換水魚介類飼育システム	
	株式会社コスモネット プレスショットカウンター「PSC-07MTL」	
	フィーサ株式会社 やさしい風のイオナイザ「M1」	





【新製品・新技術コンクール
第 37 回パンフレット】

② 次世代産業創造・産業クラスター形成

【当初予算額 52,808,000 円（うち区補助）50,124,000 円】

【決算額 37,717,981 円（うち区補助）35,296,081 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
大田区研究開発型企业ガイド (Web サイト)	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進 	149 社
大田区研究開発型企业ガイド (冊子)	登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
技術相談	Web サイトから大学や企業研究機関による技術相談に関する問い合わせ件数	76 件
研究開発マッチングシステム 登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	23 回
メールマガジンの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	23 回

（イ）産学交流相談

技術連携相談員による相談業務の実施

項目	相談件数
研究開発相談	165 件

（ウ）オープンイノベーションマッチング

展示会名	会期及び会場	出展者数 (区内企業)	成果
京浜地域産業クラスター 新パートナー/新事業創生展示会	令和 7 年 7 月 10 日、11 日 トヨタ自動車本社内	40 社 (20 社)	交流件数 1,309 件

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和7年 4月23日	「続アルミニウムの世界～その製造方法と合金の特長～」 講師：株式会社UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター	39人 (36人)
令和7年 9月18日	「続・続アルミニウムの世界～表面処理の特長と製品例～」 講師：株式会社UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター	31人 (22人)
令和7年 12月18日	「AMの期待と現状～AM何から始める?～」 講師：一般社団法人日本AM協会	43人 (19人)
令和8年 2月13日	「医工連携セミナー・見学会 -医療現場とつながる第一歩-」 講師：①学校法人藤田学園 藤田医科大学 事務局 産官学連携推進センター ②学校法人藤田学園 藤田医科大学東京 先端医療研究センター	17人 (17人)

(オ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
未来モノづくり国際 EXPO2025	令和7年7月16日から19日まで インテックス大阪	相談件数 31件

③ おおた研究・開発フェア

【当初予算額 20,752,000円（うち区補助）17,122,000円】

【決算額 20,560,152円（うち区補助）16,712,352円】

開催日	出展者数、商談件数等
第15回おおた研究・開発フェア 令和7年10月30日、31日	出展者数：93社・機関 来場者数：869人 商談件数：4,947件
概要	<p>大学等研究機関や企業が有する最先端の技術シーズの展示とともに、開発した技術の用途開発や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供することで、日本産業全体の技術革新や新産業分野への参入といったイノベーションの創出につなげた。</p> <p>特別講演① 令和7年10月30日 テーマ：「空想から始まる未来のモノづくり～ヒューマノイドロボットがいる未来の生活とは～」 講師：フューチャリスト ロボットデザイナー otuA Inc. 代表 デジタルハリウッド大学 教授 会場：PiO PARK 受講者数：74人</p> <p>特別講演② 令和7年10月31日 テーマ：「ペロブスカイト太陽電池の革新と実用化への展望」 講師：桐蔭横浜大学 医用工学部・特任教授 会場：PiO PARK 受講者数：147人</p>



〔重点取組事項〕

- ・ 1階 Pi0 フロントに移設した勤労者共済窓口では、大田区産業プラザの改修工事期間中においても窓口の場所が利用者に分かりやすくなるよう、案内掲示や会報誌等での周知を強化した。
- ・ 相次ぐ物価高騰により、チケット等の仕入価格が上昇している中、販売価格を可能な限り抑制するとともに、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せをしたほか、勤労者共済40周年記念事業として新企画や新商品を充実させた。
- ・ 区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知っていただくため、独自企画として屋形船での花火鑑賞・食事プラン、区内商業事業者の商品を集めた通販企画等を実施した。

① 加入促進事業

【当初予算額 25,050,000円（うち区補助）15,416,000円】

【決算額 19,801,590円（うち区補助）13,891,687円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」を、全10回制作した。

このうち8回は全8頁フルカラーで印刷発行、2回はWeb版として発行した。

発行回数	発行部数
年10回（うちWeb版2回）	各号4,200部



【会報誌「ふれあい」】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用し、加入促進員による個別訪問を継続実施した。

共済会員入会推移	令和5年3月末 (令和4年度)	令和6年3月末 (令和5年度)	令和7年3月末 (令和6年度)	令和8年3月末 (令和7年度)
事業所(社) (前年度比)	1,336 (-43)	1,290 (-46)	1,252 (-38)	1,214 (-38)
会員(人) (前年度比)	3,966 (-88)	3,847 (-119)	3,837 (-10)	3,777 (-60)

※令和8年3月31日末時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合がある。

② 福利厚生事業

【当初予算額（自主）45,961,000円】

【決算額（自主）39,355,495円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	32件
インフルエンザ予防接種	〃	216件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,348セット
区営プール利用券	〃	1,138枚
区営スポーツセンター	〃	18セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	34件
---------	-----

(ウ) 宿泊補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し2,000円×6泊の補助を実施。

HIS 宿泊補助（国内外旅行）の利用に対し3,000円の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	284件
HIS 宿泊補助	3件

(エ) 契約施設等の利用

大田区を含む4つの勤労者サービスセンターと協同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券を配布したほか、会員に好評の東京ディズニーリゾート補助券の配布、ならびにゴルフや大田区文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。

レジャー施設等	1,144枚	潮干狩り	13枚
東京ディズニーリゾート	1,003枚	大田区文化振興協会公演	62枚
釣り船	27枚	ゴルフ場	28枚
コストコ年会費補助	65件		

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	3,187 枚	大相撲観戦チケット	21 枚
映画デジタルチケット補助	1,258 枚	スポーツ観戦チケット	43 枚
スパ等チケット	444 枚	美術展チケット	868 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	94 枚	食事券（施設利用購入分）	1,508 枚
プリペイドカード	825 枚	鑑賞券（演劇・音楽等）	365 枚
おふろの王様チケット	407 枚	物販	66 件
恋活パーティー参加	22 人	エアキャビン乗車券	94 枚
独自企画イベント	48 枚	その他テーマパーク等	796 枚

③ 給付事業

【当初予算額（自主）8,040,000 円】

【決算額（自主）5,201,700 円】

（ア） 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	102 件	計 220 件
見 舞 金	42 件	
弔 慰 金	76 件	

（イ） 入学祝・継続会員記念品の贈呈

入学祝	125 件	計 491 件
5年継続	147 件	
10年継続	131 件	
20年継続	65 件	
30年継続	23 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業
【定款第4条（7）関係】

【重点取組事項】

- ・令和7年度から開始された大規模改修工事による制限下で施設を最大限に活用するため、利用者に対して丁寧な案内や掲示を行い満足度が向上した。
- ・「Pi0 周辺マップ」の名称を「Pi0 さんぽ」に改称し、利用者にとって親しみやすい冊子に変更を行った。また近隣の新規オープン店なども積極的に勧誘を行い掲載につなげ、区内経済の活性化を図った。
- ・大規模改修工事が円滑に進むよう、大田区をはじめとする関係者との連絡調整・準備業務を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【当初予算額（利用料金） 145,786,000 円】

【決 算 額（利用料金） 122,745,243 円】

大田区産業プラザの指定管理者として、大手企業や学会を中心に産業プラザの紹介及び利用を促進する営業活動を行うことで、区内産業振興につながる MICE 誘致を行った。また、近隣や全国展示場連絡協議会に属する貸館との情報交換に努め、施設運営におけるさまざまな業務改善策を講じた。その他、施設の災害対策として、蒲田消防署と連携して大田区産業プラザ館内勤務者を対象とした消防訓練を行ったほか、防災センターをはじめとする館内勤務者の危機管理意識の向上を図った。



【イベントの様子】

令和7年度 産業プラザ施設利用状況

(ア) 展示ホール

施設名	前 半 9:00～14:00		後 半 14:00～19:00		年間 利用率	年間 利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利 用 率		利 用 率			
大展示ホール	88	40	88	43	47.2%	38,147 人
	45.5%		48.9%			
小展示ホール	171	67	171	70	40.1%	22,884 人
	39.2%		40.9%			
合 計 (1)						61,031 人

(イ) コンベンションホール・会議室他

施設名	午前		午後		夜間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンションホール	171	102	171	124	171	106	64.7%	54,887人
	59.6%		72.5%		62.0%			
A会議室	171	143	171	153	171	85	74.3%	9,525人
	83.6%		89.5%		49.7%			
B会議室	171	141	171	146	171	69	69.4%	9,688人
	82.5%		85.4%		40.4%			
C会議室	88	59	88	67	88	30	59.1%	6,029人
	67.0%		76.1%		34.1%			
D会議室	88	65	88	66	88	37	63.6%	8,569人
	73.9%		75.0%		42.0%			
E会議室	88	63	88	69	88	41	65.5%	3,414人
	71.6%		78.4%		46.6%			
F会議室	88	62	88	66	88	57	70.1%	2,376人
	70.5%		75.0%		64.8%			
G会議室	88	57	88	66	88	41	62.1%	2,603人
	64.8%		75.0%		46.6%			
特別会議室	301	202	301	224	301	109	59.2%	24,978人
	67.1%		74.4%		36.2%			
和室	171	122	171	117	171	101	66.3%	5,672人
	71.3%		68.4%		59.1%			
					合計 (2)			127,741人
					総合計 (1) + (2)			188,772人

施設利用収入状況

利用料金収入		74,641,968円
内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 34,734,717円 ・前年度収納分： 36,314,351円 ・駐車場利用料： 3,592,900円 	

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【当初予算額（自主）4,882,000 円】

【決算額（自主）2,653,212 円】

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」及び「PiO 周辺マップ」をそれぞれ刷新した。

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」の掲載企業を中心に協力関係を築き、MICE 誘致及び施設利用者の催事成功に向けてきめ細かなサポートを行った。

「PiO 周辺マップ」については、名称を「PiO さんぽ」に改称し、蒲田だけでなく PiO PARK 等の HiCity 訪問者をターゲットに羽田周辺も掲載を行った。



【大田区産業プラザ
Web サイトなど広報媒体】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【当初予算額（受託）59,990,000 円】

【決算額（受託）41,940,155 円】

産業プラザは建築後 30 年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での小破修繕工事を適切に実施した。また、令和 7 年度から始まった大規模改修工事の工事進捗を確認し、円滑に進むよう、関係者との連絡調整・準備業務を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 階便所詰まり除去（緊急） ・ 1 階男子トイレ排気ファン入替 ・ 防災センター防犯カメラ修理（緊急） ・ 1 階排煙装置修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備点検による指摘箇所修繕 ・ 防災センターITV 設備既設レコーダー不具合修繕 ・ 1 階植栽部ブロック設置等 26 件

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名
令和 7 年度から開始の大規模改修年度のため、なし

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第1回	令和7年5月13日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 1人	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業報告について 令和6年度決算について 令和7年度補正予算について 定時評議員会の開催について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第2回 ※	決議のあった日 令和7年6月6日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事である理事長の選定について 評議員選定委員の選任について
第3回 ※	決議のあった日 令和7年8月26日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について
第4回	令和7年11月19日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> 評議員選定委員会に関する規程 職員の旅費に関する規程 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第5回 ※	決議のあった日 令和7年12月9日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人大田区産業振興協会職員の給与等に関する規程の改正について
第6回	令和8年3月27日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度事業計画及び収支予算について 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> 事務局の組織及び処務に関する規程 職員の給与等に関する規程 職員の退職手当に関する規程 非常勤職員規程 勤労者共済事業実施規程 役員賠償責任保険の契約更新について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 18 条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 7 年 4 月 8 日 同意した評議員 7 人	・役員（監事）の選任について
定時 評議員会	令和 7 年 5 月 29 日 出席評議員 6 人 欠席評議員 1 人 同席監事 2 人	・役員（理事）の選任について ・令和 6 年度事業報告について ・令和 6 年度決算の承認について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第 21 条に基づき、決議を行った評議員会である。

●評議員選定委員会

第 1 回	令和 7 年 4 月 16 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について
第 2 回	令和 7 年 5 月 29 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・評議員の選任について
第 3 回	令和 7 年 6 月 24 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について
第 4 回	令和 7 年 11 月 12 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について

◆協会組織強化

●協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
情報セキュリティ研修	4月1日 10月1日 (同内容開催)	新任職員等	協会のセキュリティについて学ぶ。	延べ5人
総務・ワークフロー研修	4月2日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程等について学ぶ。	延べ5人
産業プラザ施設勉強会	4月2日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	産業プラザや施設の整備について学ぶ。	延べ5人
HANEDA×PiO 研修	4月3日 10月7日 (同内容開催)	新任職員等	HANEDA×PiO 施設を見学し、今後の事業展開について学ぶ。	延べ5人
協会職員研修	5月29日	協会職員	協会の設立目的や在り方など、協会の今後の展開について学ぶ。	32人
PiO 職員合同研修	6月2日	協会職員 (産業振興課職員ほか)	各担当から事業の今後の展開について学ぶ。	15人
官学連携人材育成講座 (東邦大学)	6月26日	協会職員	職場での熱中症対策や熱中症の現状と課題について学ぶ。	40人
理事長職員研修	10月17日	1、2年目協会職員	理事長から区の政策や財政の仕組みについて学ぶ。	14人
経済安全保障セミナー	12月2日	協会職員 (産業振興課職員)	技術搾取等の最新動向や手口を理解し、流出防止に向けた意識向上とリスク管理の重要性を学ぶ。	25人
個人情報保護研修	1月8日	協会職員	個人情報漏洩等による被害や影響について知り、個人情報保護の重要性について学ぶ。	54人
コンプライアンス研修	1月23日	協会職員	法律・規程の正しい理解を深めるとともに、ハラスメント事例を学ぶ。	延べ43人
情報セキュリティ研修	1月27日	協会職員	中小企業における情報セキュリティ対策を学ぶ。	31人
創業・中小企業支援研修	3月9日 3月10日	協会職員	創業者に寄り添う支援の考え方や実践的なスキル、他機関と連携する力などを学ぶ。	延べ22人

その他、職層研修等は大田区及び民間の開催する研修へ参加。

